

● 平成 29 年度 交流会 第 1 回 『内分泌（成長ホルモン）』 ●

講 師：広島大学病院 小児科 坂田 園子先生

実施日時：平成 29 年 8 月 8 日（火） 14：00～16：05

会 場：広島県尾道庁舎（東部保健所）

対 象 者：成長ホルモンに関する内分泌疾患の子どもの家族、支援関係者、
関心のある方

参 加 者：家族 10 名、看護師 2 名、保育士 1 名、養護教諭 1 名

担当：東部保健所

● 講演内容

①こどもの成長について

食生活・運動・睡眠・遺伝など

②低身長と成長ホルモン分泌不全

正しい身長の評価、成長曲線、精密検査

③SGA 性低身長

SGA の要因、日本での低出生体重児の増加

④プラダーウィリー症候群、ターナー症候群症状、

問題点、治療、成長ホルモンの治療効果について

⑤思春期の異常、その他低身長をきたす疾患

思春期早発・遅発症、甲状腺機能低下症、脳腫瘍、
愛情遮断症候群、アレルギー除去食に伴う成長障害

⑥成長ホルモン治療の実際について



● アンケート結果より

<参加のきっかけ>

「内分泌疾患について勉強したいと思った」「職場で低身長のお子さんを担当している」

「子どもが低身長で経過観察中のため気になったので」

<参加された方の感想>

「分かりやすい講義で低身長についてよく理解出来ました」「とても参考になりました」

「初めて低身長に関して詳しい話を聞くことが出来て良かったです」

● 担当者より一言

東部保健所で成長ホルモンについての交流会を開始しました。今回はご家族 10 名の殆どのお子さんが未治療の方で、診断基準の狭間で悩まれてる方たちのお声を聞くことが出来ました。低身長が治療必要なものなのか、経過を見ていいものなのか、定期的にフォローしていく必要性も再確認させられました。

